

米原市(滋賀県):まいちゃん号

エリアの特性に応じたデマンド方式導入

人口	41,009 人	モード	乗合 タクシー
面積	223.10 km ²	法令	道路運送法第 4条および (旧)第21条
人口 密度	183.81 人/km ²	運営 主体	米原市



■ 取組の背景

地域と交通の状況

【高台・起伏に富んだ土地】【少子高齢化】

- 米原市は、北部は中山間地域に属し、南部は琵琶湖岸に面する平坦地域となっており、起伏に富んだ地形となっている。市の中心駅である米原駅には、東海道新幹線、東海道本線、北陸本線などJRの幹線が集まっているなど、古くから交通の要衝として栄えた町である。
- 人口は平坦地に集中する一方、中山間地の高齢化が著しい。公共交通利用者の減少に、市町村合併も重なり、公共交通路線網の見直しが必要な状況であった。

活用メニュー(制度・協議会等)

【都道府県の補助(バス)】

- コミュニティバス運行経費として、県から「滋賀県コミュニティバス運行対策費補助金」を受けた(平成18年度実績で約3千万円)。ちなみに滋賀県では、平成19年度より、コミュニティバスから乗合タクシーへの転換により経費が削減される場合、乗合タクシーに対しても当該補助金が適用されることとなった。また、調査業務への補助として、県から「合併支援特例交付金」を受けた(平成17年度に約500万円、平成18年度に約100万円)。

■ 実現したサービス

サービス内容

【デマンド型交通】【ダイヤの工夫】【運賃の工夫】

- 平成16年10月より、JR米原駅を中心とする米原地域の一部において、完全予約制の乗合タクシーが運行されている。米原市(当時、米原町)が運営、近江タクシー湖北に運行依頼されている。一般のタクシー車両を使用し、予め定められた運行区域(停留所)、運行時刻が設定されていて、予約があった時だけ運行される「デマンド型」の輸送サービスである。平成19年10月からは、JR坂田駅を中心とする近江地域にも運行エリアが拡大された。
- 設定された各エリアへは、毎時00分と30分に、米原駅・坂田駅を出発するダイヤとなっている。米原地域・近江地域でそれぞれ設定された「共通エリア」間については、約2時間に1便の運行ダイヤが設定されている。
- 利用登録された市民などは、大人は1回300円、子供は1回150円で利用可能な均一運賃制となっている。

■ 効果と負担

効果

【利用者数の増加】

- 平成 16 年 10 月の運行開始以来、利用者数は微増傾向にあり、1 日あたりの利用者数は約 50～60 人で推移している。

負担

【市町村負担】

- まいちゃん号も含めた市内バス路線の運行経費は約 1 億 2,000 万円(まいちゃん号は約 600 万円)で、運賃収入は約 30%の約 3,600 万円(同、約 200 万円)となっている。残りは市と県からの補助金が充当されており、バス事業者への補助額も年々増加している(平成 18 年度で約 6,100 万円)。

■ プロセスと調整

運行方式の見直し

【プロセス:フォローアップ】

- 平成 19 年度より、需要に応じて順次路線の見直しを実施している。エリアデマンド方式、ルートデマンド方式など、エリアの特性に応じたサービスが選択される予定である。

教育委員会との調整

【調整:市町村内他部署】

- 廃止されるコミュニティバスが、一部スクールバスを兼ねていたため、教育委員会サイドとの調整が行われた。

■ 創意工夫・知見・教訓

停留所の選定・設置

【創意工夫:運営の工夫】

- 平成 19 年 10 月から近江地域で運行開始したまいちゃん号は、各自治会で停留所の選定が行われた。また、利用が多い医院やスーパーなどでは、敷地内に停留所が設置されている箇所もある。

市民への現状周知

【知見:PRの必要】

- 廃止を伴う路線再編前に、市内を走るバス路線網について、市の広報を通じて、路線別の利用状況と運行経費を公表した(資料編参照)。市の再編に対する考え方を明確にすることで、市民からも一定の理解が得られたと考えられる。

エリア特性に応じたデマンド方式導入

【教訓:事業の持続困難】

- 山東地域エリアで運行されているコミュニティバス「カモンバス」は、均一運賃で定時定路線(一部、デマンド方式有り)を運行しているが、人口分散地区であることから採算性に課題があり、平成 20 年度中に全線デマンド方式の乗合タクシーへ切り替えが予定されている。その際、米原地域や近江地域のような人口密集地域で導入されているエリアデマンド方式ではなく、路線不定期運行方式が検討されている。

■ 連絡先、参考 URL 等

連絡先：米原市政策推進部総合政策課 電話 0749-52-6626

■ 資料編

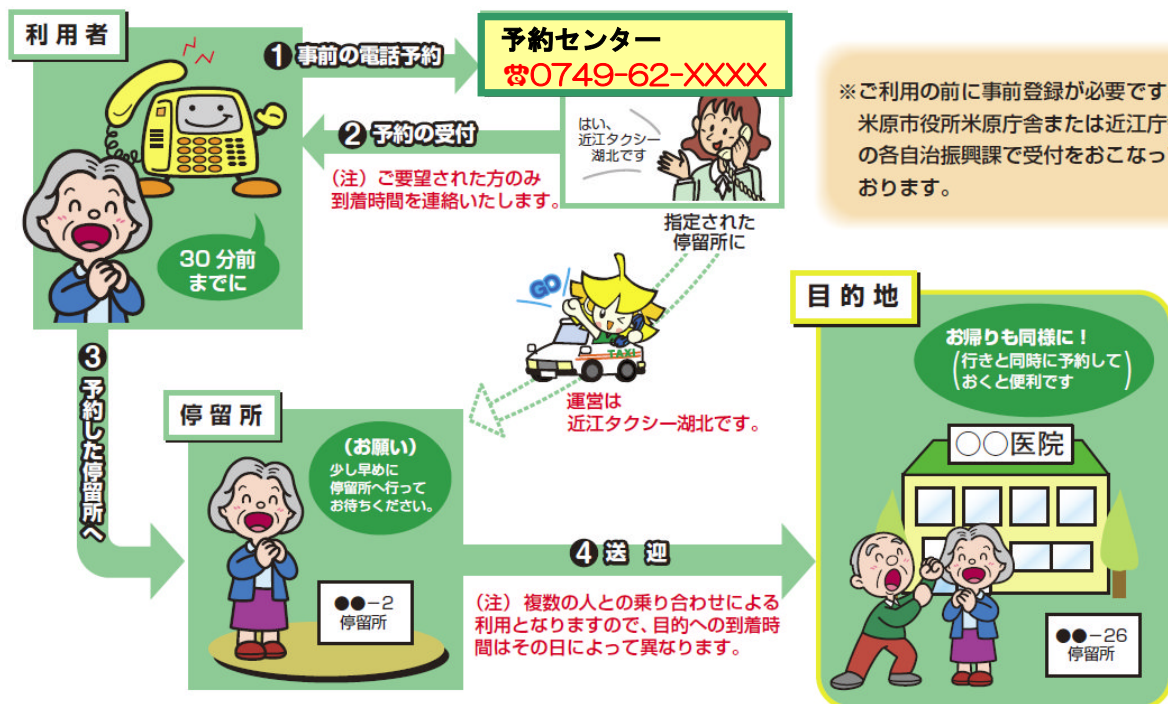


図. 利用にあたっての全体の流れ

出典:「らくらくタクシー まいちゃん号ご利用案内」

■ 資料編

市内を走るバスの路線別「利用状況」と「運行経費」

運 行	路 線 名	利用者数 (人/日)	1便 あたりの 利用者数 (人/日)	運賃 収入 (万円)	運行 経費 (万円)	米原市内の 運行赤字額 (万円)	バス利用 1回にかかる 税金 (円)
湖 国 バ ス	醒ヶ井線	106	4.60	513	1,702	1,189	308
	多和田線	84	5.25	433	2,112	1,679	548
	梓河内線	84	8.38	240	671	431	141
	曲谷線	81	2.37	818	2,441	1,623	552
	藤川線	7	0.83	90	465	375	1,550
	カモンバス堂谷線	10	0.99	46	1,142	1,096	3,017
	カモンバス柏原線	8	0.74	68	917	849	2,854
	木之本線	196	9.79	238	678	440	44
	近江長岡線	150	4.99	664	1,198	534	216
	伊吹登山口線	91	7.02	322	696	374	273
近江 タクシー	まいちゃん号	56	3.98	194	639	445	322
	合 計	871		3,626	12,661	9,035	

※運行赤字の金額：約9,000万円をバス事業者に対して補助金として支払っています。

※滋賀県からの補助：約2,900万円

※多和田線、梓河内線は幼稚園児、小学校児童の通園・通学による利用がほとんどで一般の利用客は極めて少ない路線です。

図. 市内のバス路線別「利用状況」と「運行経費」

出典：広報まいばら 2007年3月号